活用現場レポート

㈲グリーンファーム

兵庫県南あわじ市　乳牛

牛の健康を大切に
飼育環境にこだわる美味しいミルクづくり

兵庫県の淡路島で乳牛の飼育をされている㈲グリーンファーム様。牛乳を生産するための搾乳牛を育てて６０年あまり。牛にとって快適な環境づくりを心がけながら飼育をし、高品質な牛乳を生産されています。

生産者のお話

取締役
木曽　耕造 様

牛も人間と同じ生き物。ストレスを与えず、快適に過ごさせてあげることで乳質、乳量が良くなります。牛は衛生環境や、温度、えさ、水など、施設や栄養面だけでなく接する人からもストレスを受けるので、穏やかに声をかける、優しく触るといった接し方を心がけます。また、ＦＦＣを活用しても、ずさんな管理をしていれば結果は出ません。飼料、衛生環境、牛への接し方をはじめとした基本的な取り組みを行い、そこにＦＦＣをプラスすることで、当牧場では乳質の安定につながってきました。現在は所属している酪農組合に原乳を出荷し、他の牧場の牛乳と一緒にパッキングされていますが、今後は当牧場で搾った原乳のみをパッキングした淡路島牛乳を販売したいと考えています。

乳牛の飼育方法

飼料、飲み水へのこだわり

1頭当たり約22kg/日(乾物量)の飼料を食べます。

施設内で使用するお水は全てFFCウォーター。

業務用FFC元始活水器V40型

毎日ＦＦＣウォーターをたっぷり飲んでいます。

飼料は、化学肥料・農薬を使用せずにグリーンファーム様の**堆肥で育てた牧草と、独自の配合をしたグリーンファーム様専用の配合飼料を使用。**さらに、**ＦＦＣエースを配合されています。**

4.5haの畑で育てた牧草をロールサイレージ※として与えます。

※家畜用の飼料作物を円筒状にラップで梱包し発酵させた飼料

飲み水はＦＦＣウォーターです。１頭当たり平均150ℓ/ 日のお水を飲みます。

５日に１度、牛の飲み水用の10tタンクにＦＦＣパイロゲン900mlを１本入れます。

飼育環境

衛生環境が悪くなると乳房炎などの病気につながるため、牛の寝床は朝夕（1日2回）おがくずと堆肥を敷き、綺麗にしておきます。

おがくずと堆肥を混ぜた寝床。ふかふかで気持ちよさそうです。

夏の暑い時期はＦＦＣウォーターのミストを噴霧します！

搾乳

搾乳工程では、作業する人による洗浄のばらつきをなくすため、乳頭を洗浄する機械を導入し、衛生的な環境で搾乳を行っています。1頭当たり約３０ℓ/日の牛乳を搾ります。

洗浄する機械

搾乳

ＦＦＣ活用後の変化

堆肥場のにおいが軽減

牛ふんを発酵させて堆肥を作っていますが、堆肥場の**においがほとんど気にならなくなりました。**

また、**堆肥の質も向上！農家の方から「他の酪農家の堆肥より質がいい」と大好評です。**

評判が広がり、堆肥を使用する農家が増え、今では５０軒以上！

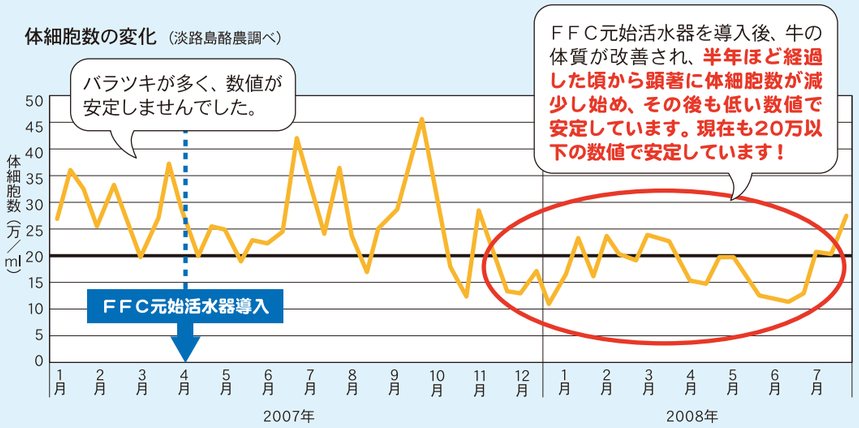
臭気・ハエの減少

牛舎のにおいも軽減しました。見学に来たほとんどの方から**「他の牛舎と比べてにおいが少ない！」というお声をいただきます。**また、ハエも少なくなりました。

乳質の向上・安定

乳質を測るバロメーターの一つである体細胞数が変わりました。体細胞数とは、白血球の数を反映するもので、牛の体調が良いと減少・悪いと増加し、乳質・乳価に非常に関わります。一般的に、乳価はある一定の体細胞数を上回るとペナルティーが課せられ、**体細胞数が多くなるほど乳価は下がり、体細胞数が少ないほど上がります。**ＦＦＣを活用してから**体細胞数が低い値で安定し、乳質が良くなりました。**また、**体細胞数の低下により、原乳取引価格のアップにつながりました！**

体細胞数の変化（淡路島酪農調べ）



まろやかでコクがあり、牛乳本来の甘みが強くておいしい牛乳です！

※パイロゲンは清涼飲料水ですが、ご本人様の経験により生産工程で活用されています。　※掲載事項に関するご質問は㈱エフエフシー・ジャパンまでお願いいたします。

発行元：**株式会社 エフエフシー・ジャパン**　〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3　TEL:059-230-3595　http://www.ffc-japan.co.jp